

# 原市場聖書教会

## 週 報

NO. 835

### 年間聖句

20, しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

21, キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。

ピリピ 3 章 20～21 節



2021. 4. 4

# 主日イースター礼拝

2021年 4月 4日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 勝山幸子姉  
献金：若村めぐみ姉

祈	り		司 会 者
今 月 の 賛 美		「 真昼のように」	一 同
使 徒 信 条			一 同
主 の 祈 り			一 同
賛 美		聖歌171番「 よびとようたえ」	一 同
献 金			一 同
感 謝 の 祈 り			若村めぐみ姉
聖 書 朗 読		ルカ24章13節～35節	司 会 者
説 教		「 目が開かれた弟子たち」	若 村 和 仁 師
黙 祷			一 同
賛 美		聖歌168番「 いざひとよ」	一 同
聖 餐 式			若 村 和 仁 師
賛 美		福音賛美歌259番「 とともにパンを分け合おう」	一 同
頌 栄		聖歌383番「 ちち・みこ・みたまの」	一 同
祝 祷			若 村 和 仁 師
後 奏			奏 楽 者
報 告			司 会 者



●コロナウィルス感染が落ち着くまで  
昼食会はお休みいたします。



# 「目が開かれた弟子たち」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

## ルカ24章13節～35節

13,ところで、ちょうどこの日、弟子たちのうちの二人が、エルサレムから六十スタディオン余り離れた、エマオという村に向かっていた。

14,彼らは、これらの出来事すべてについて話し合っていた。

15,話し合ったり論じ合ったりしているところに、イエスご自身が近づいて来て、彼らとともに歩き始められた。

16,しかし、二人の目はさえぎられていて、イエスであることが分からなかった。

17,イエスは彼らに言われた。「歩きながら語り合っているその話は何のことですか。」

すると、二人は暗い顔をして立ち止まった。

18,そして、その一人、クレオパという人がイエスに答えた。「エルサレムに滞在しながら、近ごろそこで起こったことを、あなただけがご存じないのですか。」

19,イエスが「どんなことですか」と言われると、二人は答えた。「ナザレ人イエス様のことです。この方は、神と民全体の前で、行いにもことばにも力のある預言者でした。

20,それなのに、私たちの祭司長たちや議員たちは、この方を死刑にするために引き渡して、十字架につけてしまいました。

21,私たちは、この方こそイスラエルを解放する方だ、と望みをかけていました。実際、そればかりではありません。そのことがあってから三日目になりますが、

22,仲間の女たちの何人かが、私たちを驚かせました。彼女たちは朝早く墓に行きましたが、

23,イエス様のからだが見当たらず、戻って来ました。そして、自分たちは御使いたちの幻を見た、彼らはイエス様が生きておられると告げた、と言うのです。

24,それで、仲間の何人かが墓に行ってみたのですが、まさしく彼女たちの言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」

25,そこでイエスは彼らに言われた。「ああ、愚かな者たち。心が鈍くて、預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち。

26,キリストは必ずそのような苦しみを受け、それから、その栄光に入るはずだったのではありませんか。」

27,それからイエスは、モーセやすべての預言者たちから始めて、ご自分について聖書全体に書いてあることを彼らに説き明かされた。

28,彼らは目的の村の近くに来たが、イエスはもっと先まで行きそうな様子であった。

29,彼らが、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もすでに傾いています」と言って強く勧めたので、イエスは彼らとともに泊まるため、中に入られた。

30,そして彼らと食卓に着くと、イエスはパンを取って神をほめたたえ、裂いて彼らに渡された。

31,すると彼らの目が開かれ、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。

32,二人は話し合った。「道々お話しくださる間、私たちに聖書を説き明かしてくださる間、私たちの心は内で燃えていたではないか。」

33,二人はただちに立ち上がり、エルサレムに戻った。すると、十一人とその仲間が集まって、

34,「本当に主はよみがえって、シモンに姿を現された」と話していた。

35,そこで二人も、道中で起こったことや、パンを裂かれたときにイエスだと分かった次第を話した。

# 今月の賛美

## 真昼のように

い の ち を か け ー て あ い を し め さ れ た イ エ

ス さ ま に 出 会 い す べ て が 変 わ っ た わ

た し は あ な た に な に を も っ て か

ん しゃ を あ ら わ せ ば い い の だ ろ う

ま ひ る の よ う に ー か が や き な が ら

ー あ な た の あ い を つ た え た ー い

ー イ エ ス さ ま の よ う に ー か が や き つ づ け る

ー 世 の ひ か り に ー し て く だ さ い ー

# 使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬<sup>ほうむ</sup>られ、陰府<sup>よみ</sup>にくだり、  
三日目に死人の内よりよみがえり、  
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。  
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。  
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、  
聖徒の交わり、罪のゆるし、  
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。

アーメン

# 主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ  
願わくは御名<sup>みな</sup>をあがめさせたまえ  
御国<sup>みくに</sup>をきたらせたまえ みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を  
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを  
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ  
われらを試みにあわせず 悪より救いいだしたまえ  
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり

アーメン

## 御言葉メール紹介

★ 2021 年 3 月 31 日御言葉

ヨハネの福音書 13 章 14 ～ 15 節

14, 主であり、師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのであれば、あなたがたもまた、互いに足を洗い合わなければなりません。

15, わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするようにと、あなたがたに模範を示したのです。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会より引用

●今日のこの箇所は、イエス様が十字架に架けられる前に弟子たちの足を洗った後に語った言葉です。イエス様の弟子たちも、弟子の中でだれが一番偉いか？とイエス様に問いかけるような時もありました。弟子たちも人間ですね。私たち人間は、学校でも、会社でも、誰が一番偉いか？と言うことにこだわったりします。自分のほうが「カッコいい、頭が良い、美しい、力がある・・・。」など人よりもできる部分を認めてもらいたい、評価してもらいたいことが第一の目的になりやすい弱さがあります。

イエス様は、神様が人となってこの地上に来られた方です。その方がされたことは、弱さを覚える人達に仕えたのです。寄り添われたのです。また、ご自身が最後十字架に架けられることが近づいた時には、最後に弟子たちの足を師匠であるイエス様ご自身がご自分の手で一人一人愛をこめて洗われたのです。

足は地面についており、一番汚い場所です。そこを洗って下さったのです。そして、誰が一番偉いか？と比べ合う心があった弟子たちに、「互いに比べ合う」のではなく、「仕え合う事」こそが大切であることを師匠自ら実践されたのです。私たち人間一人一人個性が違います。能力も違います。それはとても素晴らしいことです。それぞれ神様から与えられた賜物を隣人の為に喜んで活かしあっていける者でありたいですね。

イエス様は、神であられる方ですが行動をもって私たちに何が大切かを示して下さいました。また神様の愛の大きさをも十字架に進むことを通して示して下さいました。これほどの大きな神様の愛によって愛されていることを忘れず感謝し、互いにたすけあい、仕え合う者でありたいです。

では、今日のそれぞれの歩みも守られるようお祈りしています。

原市場聖書教会

若村和仁

## 報 告

★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

★首都圏の緊急事態宣言は解除されましたが、感染者数は横ばいとなっており、引き続き警戒が呼びかけられています。それを受けて、原市場聖書教会での礼拝は以下の対策を継続いたします。

1, zoom 利用が可能な方は引き続きオンラインでの参加をご検討ください。

2, 会堂での礼拝参加の際は、極力間隔をあけてお座りください。

3, 会堂に入られる際には、マスクの着用、手の消毒をよろしくお願いします。

4, 当面の間、食事を伴う交わりは自粛いたします。

●4月以降の平日集会予定

★4月7日祈り会より再開、★赤毛のアン、こひつじタイムの再開は状況をみて判断いたします。

★本日午後2時から野外にてハレルヤキッズスペシャルイースター卵探しを行います。

☆イエス様の復活を感謝し私たちの神様への感謝の表れとして「イースター献金」をお献げしたいと思います。イースター献金袋をご用意しています。イースター献金にご利用ください。

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

・4月6日～4月9日（火～金） NPO 法人あまやどり （場所：高麗聖書教会）

### 本日午後の予定

☆礼拝後オンライン参加者と、礼拝堂の方との分かち合い、祈りのひと時を持ちます。  
お時間のある方は、礼拝後続けてご参加ください。15分程度で考えています。

☆14時より 子どもイースターエッグ探しがあります。

### 次週礼拝（4月11日〈日〉）

司 会：本多崇兄

聖 書：創世記10章1節～32節

説 教：「セム、ハム、ヤフェテの歴史」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：今月の賛美「真昼のように」

聖歌410、聖歌528、聖歌383

受 付：本多祐子姉 献金感謝祈祷：若村めぐみ姉

### 先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
3月28日（日）	教会学校ハレルヤキッズ	3人			3人
	礼 拝	3+1人	4+2人	8+6人	24（15+9）人
		（※上記「礼拝堂+オンライン」表記となります。）			
	夕 礼 拝		お休みいたしました。		
3月31日（水）	祈 り 会		お休みでした。		

## 集会案内

4月7日（水）	祈 り 会	10:30～12:00
4月11日（日）	ハレルヤキッズ	9:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

# 頌 栄 聖歌383

## 「ちち・みこ・みたまの」

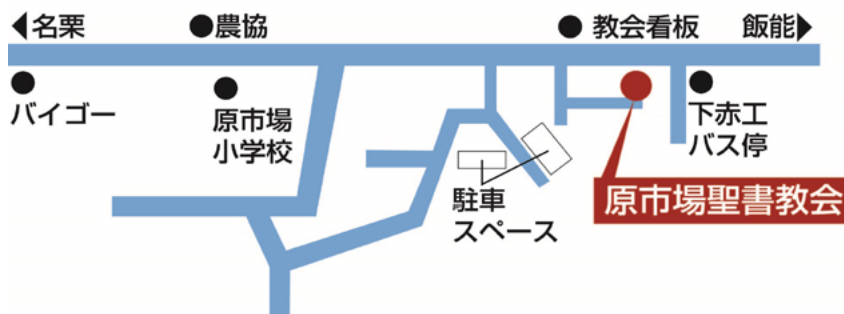
To Father, Son, and Holy Ghost  
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE  
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ ややはやく ♩ = 104

ち ち・み こ・み た ま の お お み か み に - と こ し え か

わ ら ず み さ か え あ れ - み さ か え あ れ - アーメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254  
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール [hibawaka@aol.com](mailto:hibawaka@aol.com)

### ❖ 集会案内 ❖

主 日 礼 拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈 り 会	水曜	10:30-12:00
赤毛の7ソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッス スペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



## 原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧 師: 若村和仁